会　　議　　録

<table>
<tr><td colspan="2">会議名
（審議会等名）</td><td colspan="3">第７期第１０回相模原市中央区区民会議小委員会（グループ３）</td></tr>
<tr><td colspan="2">事務局
（担当課）</td><td colspan="3">中央区役所区政策課　電話０４２－７６９－９８０２（直通）</td></tr>
<tr><td colspan="2">開催日時</td><td colspan="3">令和６年５月１５日（水）　１０時１５分～１１時０５分</td></tr>
<tr><td colspan="2">開催場所</td><td colspan="3">相模原市立産業会館　４階　特別会議室（国際商談室）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">出席者</td><td>委　員</td><td colspan="3">７人（別紙のとおり）</td></tr>
<tr><td>事務局</td><td colspan="3">２人（区政策課職員）</td></tr>
<tr><td colspan="2">公開の可否</td><td>■可　□不可　□一部不可</td><td>傍聴者数</td><td>０人</td></tr>
<tr><td colspan="2">公開不可･一部不可の場合は、その理由</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2">会議次第</td><td colspan="3">１　議題
（１）第７期中央区区民会議重点行動について
・「地域ネットワークの充実」
・「都市の自然を次世代につなげるまちづくり」</td></tr>
<tr><td colspan="2">会議結果概要</td><td colspan="3">■「都市の自然を次世代につなげるまちづくり」
身近にあるみどりや生物多様性を保全し、都市の自然を次世代へ繋げていくことを進めるため、提言書の内容を大きく２つとした。
一つ目は、みどりの大切さについてはみんな良く知っているが、自分たちがどのような行動をすれば良いのか分からない。そのため、自分たちが活動に繋げられるような講座を身近な会場で実施してほしい。
二つ目は、様々な講座や情報を色々な機関が発信しているが、その情報が市民に届いていない、伝わっていない状況がある。そのため、情報発信に力を入れてほしい。実施する講座や催し、自然環境を守るための知識や情報がもっとたくさんの人に繋がるよう、発信方法を工夫して実施してほしい。
また、具体的な講座のテーマ等については、参考として、提言書とは別に、補足資料として作成する。
次回区民会議で提言書（案）の最終調整を終え、次回区民会議後に提言とする予定。</td></tr>
</table>

主な内容は次のとおり

開　会
事務局から、運営に係る事務説明を行った。
—傍聴希望者　なし—

１　議題
（１）第７期中央区区民会議重点行動について
■「都市の自然を次世代につなげるまちづくり」
（事務局）
前回、区民会議の議論を基に、提言書（案）の作成を行った。
公民館での講座開催の話が出ていたが、会場を指定すると、実現の幅も狭まるため、身近な会場という表現にしている。
提言書（案）について、意見を出してほしい。
（坂本委員）
提言書を渡す相手は誰か。
（事務局）
環境経済局長を予定している。ゼロカーボン推進課、水みどり環境課の２課を統括している。
（坂本委員）
提言内容が漠然としている。具体的な提言を入れられないか。例えば各課の環境関係事業を一つのチラシとして啓発してはどうか。
（事務局）
既にエコネットの輪という冊子がある。この冊子には、市の関係課、ＮＰＯ法人、大学、事業者等の事業がまとめて記載されている。ゼロカーボン推進課としても、エコネットの輪の活用や周知を希望している。
（坂本委員）
A4一枚程度のチラシを作成してほしい。エコネットの輪のような冊子は、市職員等の精通している人が見るもので、一般市民は見ない。いろんなイベントを集約したチラシがよい。
（斎藤委員）
私も発信は必要だと思う。また、生物多様性を守ることは必要だが、本来は温暖化防止、ごみ、有害物質も対策しなければならない。しかし、提言書では読み取れない。みどりを守るだけでなく、環境を守る暮らし方、のような文言を入れてほしい。
現在、講座等には興味がある方のみ参加している。提言書に、自治会が協力するというような文言が追加できないか。講座をやりたいが、人が集まらない、会場使用の許可がでないなどの問題があると困る。
（事務局）
市自治会連合会を通じて講座をチラシで周知するのであれば、各自治会に周知される。なお、チラシを作成する予算の確保や市自治会連合会役員会での周知の許諾が課題となる。
（斎藤委員）
各まちづくりセンターが協力するなどの文言を記載してほしい。地域単位で周知させたい。
（事務局）
提言に係るイベントが実施される際には、区民会議にて報告を行う予定であるため、各委員はその情報を各地域で広めていただきたい。
（坂本委員）
提言の一つ目は総論的な話を行い、提言の二つ目でチラシの作成など具体的な提言内容を追加で入れて欲しい。
（山口委員）
提言について、環境を守る暮らし方まで含めたいという意見があったが、これまでの経過を踏まえると、今回の提言は、みどりや生物多様性の保全でよいのではないかと考えている。
小山中学校近くに医療少年院跡地があり、現在、在来の「カントウタンポポ」が繁茂している。現在、専門家の指導の下、他の少年院・小山小学校・小山中学校・その他の大学等で一時的に保存し、施設の整備完了時に戻す取組を行っている。市民に、日本固有の生物にはどのよ

うな種類があるのか、どのように保全していくのか等を学べるイベントをやってほしい。
（斎藤委員）
公園だとかに在来種を植えるのは行政の取組になる。個人が暮らしの中で何をしたら良いのかというのが分かりにくい。この提言だと講座を実施してほしいという提言だけになるので、中央区の緑地を保全してほしいという提言を入れてはどうか。
（事務局）
ここで新たに意見として出された、緑地を保全するという議論は、漠然としており、具体的に何をするのかこれまで議論されていない。これからこの内容を議論していく時間はない。
また、提言を行っても、実施できない提言にならないよう、具体的な講座名の列挙でなく、実施方法等を工夫して取り組めるような包括的な要望にした方が望ましいのではないか。
（坂本委員）
いろいろな事業を現在事務局が困るのであれば、包括的な要望でもやむを得ない。いろいろなイベントをやるのは良いが、イベントを集約して分かりやすく周知してほしい。
また、この提言では大野北公民館での開催は見込めなくなるのか。
（事務局）
それは、提言することで、所管課が実施内容、実施場所等を検討することとなる。
提言の二つ目として、イベント等の情報発信の強化を追加することでよいか。
（坂本委員）
ナガミヒナゲシという植物が繁茂している。樹液が毒である。可愛いが有害である。そうした情報が知られていないため、危険性がある。外来種について、何の説明もなくチラシだけが自治会の回覧に入っていることがある。説明がなければ読まない人も多い。相模原市は対応してくれないのか。
（事務局）
５月１５日号広報誌にて、外来種を見つけたら駆除してほしいという啓発を行っている。
提言書には細かく記載できないので、提言書とは別に資料を作成し、実施してほしい講座のテーマ等を記載するのでよいか。次回の区民会議までに事務局が取りまとめて作成したい。
（坂本委員）
情報発信については、高齢者はインターネットを見ないため、広報さがみはらという紙媒体を希望する。カラーでないと目を引かないためカラーを希望したい。
（事務局）
担当課として、予算や紙面の都合もあるため、紙がよいのか、ＳＮＳがよいのか等も含めて検討が必要である。提言の案として、一つ目はそのままとし、二つ目に情報発信の強化、イベント、知識に関する発信の強化を追加する。また、補足資料として、講座のテーマを取りまとめて、参考例として手渡しすることとしたい。
次回の区民会議前までに取りまとめる。

以　上

第７期第１０回相模原市中央区区民会議小委員会（グループ３）　委員出欠席名簿

№.	氏　名	所　属　等	出欠席
1	斎　藤　奈　美	特定非営利法人　ａｎｄ　Ａｄｖａｎｃｅ	出席
2	坂　本　洋　三	相模原市地区社会福祉協議会中央区連絡会	出席
3	代　田　　修	田名地区まちづくり会議	出席
4	丹　波　晴　道	清新地区まちづくり会議	出席
5	原　田　克　也	一般社団法人相模原市医師会	出席
6	森 田 麻 里 子	公募委員	出席
7	八　木　貴　弘	公益社団法人相模原青年会議所	欠席
8	山　口　信　郎	大野北地区まちづくり会議	出席